

新型コロナウイルス感染症対策に関する重点要望

新型コロナウイルス感染症については、全国で感染者数が増加傾向にあり、特に首都圏における感染者数の増加は顕著であることから、更なる感染拡大が懸念されており、県民の不安が高まっている。

また、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、我が国の景気は引き続き厳しい状況にある中で、時短要請等による社会経済活動の停滞により、依然として、先行きの見えない状況が続いている。

さらなる感染拡大による医療崩壊を防ぐことが最優先であるが、産業活動や県民生活の下支えも求められる。

そこで、我が党の「愛知県の重点施策並びに令和3年度9月補正予算編成に関する要望」においては、新型コロナウイルス感染症対策に関し、下記事項に重点的に取り組まれるよう強く要望する。

記

1 検査・医療体制の整備

地域の診療・検査医療機関の協力を得つつ、PCR検査の拡充や病床・宿泊療養施設の確保を図ることはもとより、医療機関における施設・設備の整備、医療人材の確保に向け、万全を期すこと。

2 ワクチン接種の促進

希望するすべての方がワクチンを速やかに接種できるよう、県として広域的・専門的な見地からの責務を果たしつつ、実施主体である市町村等と連携し、適切な体制の確保を図ること。

また、接種が感染防止に有効であることを示すエビデンスを積極的に発信するとともに、新たな新型コロナウイルスワクチンが開発された際には、国に対して早期の獲得に取り組むよう要望すること。

3 地域経済の下支えと雇用の維持

飲食店に対する協力金の支給や飲食店に関わる事業者に対する応援金だけでなく、サービス業や一次産業など厳しい状況にある地域経済の下支えを図るとともに、現下の雇用情勢に対応するため、失業を余儀なくされた者に対する再就職に向けた支援等を行うこと。

また、事業者に対して感染防止対策への協力を要請する場合は、迅速な支援を行うことはもとより、その考え方や内容の周知の徹底を図ること。